



たしろ

No. 582 6月号

平成 14 年 6 月 13 日発行



ほく でんしろ う です

奥花瀬に

休憩・飲食施設

せ せ ら ぎ かん

瀬々来樹館オープン

田代町役場企画管財課編集 肝属郡田代町麓 827 番地 1
ホームページアドレス <http://www.town.tashiro.kagoshima.jp>

○若雌一部(12ヶ月令未満)
最優秀賞 宮園 敏和(中村)
優秀賞 水 流 和 昭(鶴園)
ふくよ3号(平茂勝)
山 元 泉(猪鹿倉)
すなゆきこ号(金幸)

5月24日(金)肝属郡春季畜産共進会
本町からは5頭が出品し、根占町にあと一歩及ばず、団体二位の好成績を収めました。肝属郡春季畜産共進会の成績については次のとおりです。



肝属郡春季畜産共進会
団体成績準優勝

○若雌二部(12ヶ月〜16ヶ月)
最優秀賞 折小野 浩一(岩崎)
かすみ号(平茂勝)
○若雌三部(17ヶ月〜24ヶ月)
最優秀賞 山 元 泉(猪鹿倉)
はつき72号(平茂勝)
また、7月31日に行われる、全国和牛能力共進会の最終予選会に次の3頭が選考されました。御健闘をお祈りいたします。



上からいちふじ8号、第9かつこ

前町長の松田進さん(大正11年3月13日生・81歳)が平成14年春の叙勲として、地方自治部門で「勲五等雙光旭日章」を受章され、その伝達式が5月7日県庁にて執り行われ、知事より伝達されました。松田さんは昭和29年1月に田代村技術吏員として奉職し、昭和36年4月から田代町経済課長、農林業構造改善事務局次長、教育委員会総務課長として、その要職に務められました。さらに、昭和51年2月に助役に就任し、9年8か月の長きにわたり在職するとともに、昭和60年10月には、町長に初当選以来、平成9年10月までの3期12年間の長きにわたり在職し、本町の町勢発展と地方自治の発展に尽力され、今回の受賞となりました。「これもひとえに、町民の皆様方の永年にわたる心温かき、ご指導ご支援の賜と深く感謝申し上げます。」と話されていました。今後もお体を大切にされ、益々のご活躍をお祈り申し上げます。



勲五等雙光旭日章受章

おめでとうございます。地球から見ると、ほんの一粒だけど、あたしの中では、でっかいものなんだ。この詩は、鳥淵集落にお住まいで南大隅高校普通科1年生の鳥淵美穂さんが第9回一筆啓上賞に応募、受賞された詩です。この一筆啓上賞とは、「二筆啓上」の書簡碑がある、福井県丸岡町の主催で、昨年の6月1日から9月30日までの応募期間中によせられた、全国約12万4000通の詩の中から200作品選ばれ、その中の1作品です。鳥淵さんは、中学校3年生の時、国語の選択授業で作り、応募されたとのこと。うれしい一言に限りです。」と話されていました。



5月16日、田代幼稚園・川原保育園の一日遠足がありました。当日は、前日の雨とは変わり天気になり、遠足日和となりました。年中さんは途中までは歩き、バスで「でんしろう館」に行き、年長さんは園から「でんしろう館」までずっと歩きました。疲れた表情もなく、着き次第、おいしそうにおやつを食べて、多目的広場でボール遊びをしたり、遊具施設で時間を忘れ遊んでいました。昼ごはんも友達同士、見せ合いやおかずの交換をするなど微笑ましい光景もありました。46名の園児の楽しい声がいつまでも花瀬にこだましています。



学習農園だより

～田代小学校編～ 田代小学校では、5月20日学習農園で甘藷植付けをしました。16日5・6年生がうね立てをして当日に備え、全校児童での植付けでは、始めに先生が植付けをする際の注意点等を話され、植付けを行いました。一年生は、初めての体験で戸惑いを見せていましたが、お兄さん・お姉さんの指導の下、無事植えつけることができました。秋の収穫が楽しみです。



～大原小学校編～ 大原小学校では、6月7日学習農園で「田車押し」、「草取り」をしました。当日は、曇り日和で少し肌寒いでしたが、子供たちはうれしそうに、田んぼに足をふみ入れ、すくすく育った稲を観察していました。5・6年生は田車押し、3・4年生は草取り、1・2年生は見学と、8月の収穫を楽しみにしているようでした。本町の「田代米」は大変評判が良く、東京の東都生協から引っ張りだこです。今年も「アイガモ米」、「田車米」の予約注文が多いようです。アイガモが気持ちよさそうに泳いでいます。今年も良い作柄になればいいなあと思います。



田代町消防操法大会
6月2日(日)花瀬公園多目的広場において、消防操法大会が開催されました。この操法大会は、「鹿児島県消防協会肝属支部消防操法大会」の予選も兼ねていて、中央分団・川原分団・大原分団の3分団が、日頃の訓練の成果を発揮しました。審査の結果、小型動力ポンプの部で「中央分団」、自動車ポンプの部で「大原分団」が優勝しました。



大原分団



中央分団



第2回 ツール・ド・おおすみ サイクリング大会

5月12日、「第2回ツール・ド・おおすみサイクリング大会」が開催されました。この大会は、コースが3コースに分れ、120km・60km・40kmコースに、計273名の方々が参加、サイクリングを楽しみました。120kmのコースでは97名の方が出場、本町を経由、役場を休憩所・給水所として立ち寄りました。国道沿いで声援を送る方もいて、選手の方は「応援があれば、苦になりません」と休憩もそこそこに、内之浦町を目指して、足早に自転車をこいでいました。

人権相談について
「人権って何？」
6月1日は「人権の日」と定められています。人権って何ですか?と改めて聞かれると、何やら難しく聞こえます。しかし、簡単に言えば、「この世にその人が一人の人間として存在していること」そしてその人は「この地球上にたった一人しかいないということ」そして「一人一人が生まれながらに持っている、誰からも侵されない人間として大切な権利」ということです。日本国憲法第11条にも「この憲法が国民に保障する基本的権利は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる」となっています。「差別って何?」人間には、自由にそして平等に生きたいという願いを誰

でも持っています。ところが、この世には、他人の自由を奪ったり、不平等な扱いをしたりして、人間としての尊厳を傷つけられることが生じます。これを差別といいます。「育てよう、一人一人の人権意識、身近なことから人権を考えてみませんか」をテーマに本町では法務省から委嘱された人権擁護委員を小牧唯憲氏が務めています。何か差別を受けていると感じたり、人権上の悩み、困りごとなどお気軽にご相談ください。住所：田代町麓3550番地(馬場集落) 氏名：小牧 唯憲 (こまきただのり) 電話：3714



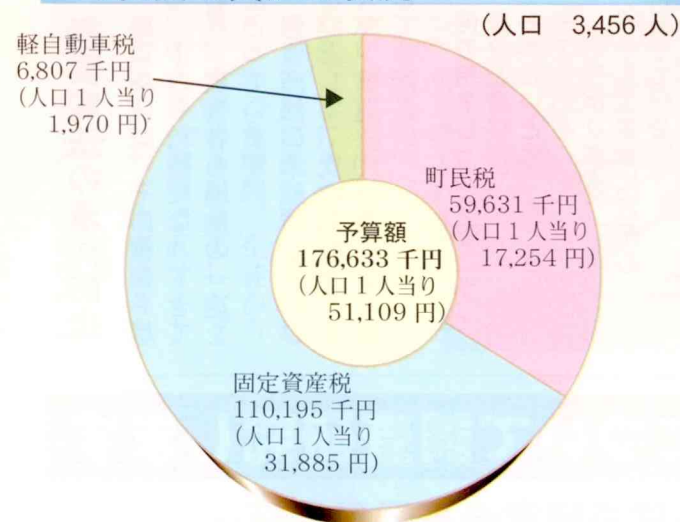
平成13年度 下半期(10月～3月) 田代町 財政事情

平成13年度下半期(平成13年10月1日～平成14年3月31日)の財政事情を公表します。

平成13年度3月末現在の一般会計予算額は、3,286,415千円で、収入済額2,454,594千円、支出済額2,692,742千円となり、予算額に対する執行率についてみますと収入全体で74.7%、支出全体で81.9%となっています。

また、住民の負担の状況、財産の状況、町債の状況、一時借入金の状況は、別表のとおりとなっています。

2. 住民の負担の状況



3. 財産の状況

区分	面積・金額
土地	667,775 m ²
建物	31,318 m ²
山林	4,244,565 m ²
有価証券	65,368,000 円
出資金	29,987,307 円
基金	1,249,000,047 円

4. 町債の状況

町債の現在高	4,433,354 千円
(内訳) 財政融資資金	2,269,221 千円
簡易保険局	492,999 千円
公営企業金融公庫	1,154,285 千円
銀行等縁故	360,590 千円
共済等	17,069 千円
その他	139,190 千円

5. 一時借入金の状況

一般会計	450,000 千円
国民健康保険事業会計	50,000 千円
簡易水道事業会計	0 千円
農業集落排水事業会計	0 千円
介護保険事業	0 千円

1. 収入及び支出の状況

収入 (平成14年3月31日現在)

科目	予算額	構成比	収入額	収入率
町税	190,551	5.8	188,151	98.7
地方譲与税	30,600	0.9	24,274	79.3
利子割交付金	5,600	0.2	5,938	106.0
地方消費税交付金	22,000	0.7	26,160	118.9
自動車取得税交付金	10,000	0.3	7,597	76.0
地方特例交付金	4,000	0.1	5,199	130.0
地方交付税	1,528,879	46.5	1,601,825	104.8
交通安全対策特別交付金	800	0.0	429	53.6
分担金及び負担金	15,118	0.5	14,051	92.9
使用料及び手数料	25,521	0.8	25,489	99.9
国庫支出金	181,108	5.5	55,206	30.5
県支出金	339,829	10.3	197,511	58.1
財産収入	13,339	0.4	13,663	102.4
寄附金	470	0.0	470	100.0
繰入金	200,511	6.1	169,629	84.6
繰越金	86,609	2.6	86,609	100.0
諸収入	19,979	0.6	16,493	82.6
町債	611,501	18.6	15,900	2.6
歳入合計	3,286,415	100.0	2,454,594	74.7

支出 (平成14年3月31日現在)

科目	予算額	構成比	支出額	支出率
議会費	71,253	2.2	70,524	99.0
総務費	683,963	20.8	547,233	80.0
民生費	412,172	12.5	335,557	81.4
衛生費	145,437	4.4	138,308	95.1
農林水産業費	380,582	11.6	251,475	66.1
商工費	41,353	1.3	29,653	71.7
土木費	592,354	18.0	470,419	79.4
消防費	80,157	2.4	69,371	86.5
教育費	352,119	10.7	334,034	94.9
災害復旧費	32	0.0	22	68.8
公債費	524,142	15.9	446,146	85.1
諸支出金	1	0.0	0	0.0
予備費	2,850	0.1	0	0.0
歳入合計	3,286,415	100.0	2,692,742	81.9

山 地 災 害 ・ 土 砂 災 害 に 備 え る

雨が多くなるこの時期に、山地災害・土砂災害に対する防災知識の普及などを図るため、6月は「土砂災害防止月間」となっています。

本県では、毎年のように各地で山崩れや土石流などが発生し、これまで多くの尊い人命や財産が失われています。このような悲惨な災害から生命や財産を守るため、日ごろから山地災害・土砂災害への注意を心がけましょう。

■山地災害・土砂災害の危険を早めに察知するため、家の周囲に普段と変わった現象(地割れなど)がないか、日ごろから点検しましょう。

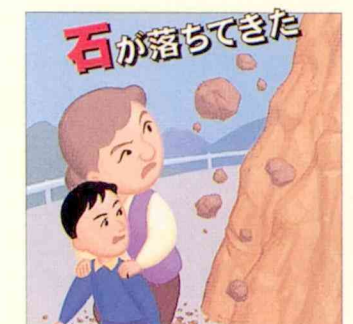
■雨の降り方やテレビ・ラジオなどの気象情報にも注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。

■災害に備え、普段から、家族みんなで避難方法・場所・道順などを確認しておきましょう。

山地災害・土砂災害の危険信号を見逃すな！

山地災害・土砂災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、多くの場合、危険信号と思われる変化が現れます。山地災害・土砂災害に関する情報は役場経済課又は建設課まで連絡してください。

つぎの8つの危険信号に注意して下さい。



河川愛護運動について

現在(5月21日から6月20日)河川愛護運動の実施期間になっています。

この運動は広く県民の間に河川を大切に、きれいにする気運を育成し、県民の自主的な河川愛護作業の実施によって、河川に対する理解と協力を得るとともに、県民の生命・財産を水害から守り、県民の福祉増進を図るものであります。

町民の皆様には本運動の趣旨をご理解いただき、運動期間中のみならず、年間を通して川の美化作業等にご協力下さい。

道路の通行規制情報の提供開始

県では、県内の高速自動車国道や国道、県道の主な通行規制情報を、インターネットや携帯電話（iモード）により提供開始しました。

これは、道路や大雨、災害、工事などにより通行止めとなったり、積雪でチェーンが必要となった場合などの通行規制情報を、県民や道路を利用する皆さんに、より迅速に提供することで、迂回路の選定や快適な道路利用のために役立てていただくものです。

■ ホームページアドレス
<http://chukakunet2.pref.kagoshima.jp/dourokisei/>
 ■ iモードアドレス
<http://chukakunet2.pref.kagoshima.jp/dourokisei/i/>
 △ 問い合わせ先
 県庁道路維持課
 ☎ 099(286)2111
 内線3016

悪質商法の未然防止

悪質商法は、その種類も増え、手口も巧妙になってきており、被害者も増加の一途をたどっています。悪質商法の未然防止策のひとつとして、次の悪質セールのスマン撃退法10か条を参考としてください。

- 何の用？しつかり聞こう、身分と用件
- おかしいと思ったときはドアしめろ
- 「もうかります」
- そんな言葉にご用心
- あやしいぞ、
- 人のふところ聞く業者
- 勇気出し、はっきり言おう、「いりません」
- しつこいな、
- そんな相手は110番
- 迷ったら一人で悩まず、まず相談
- サインしたあとで
- しまった、もう遅い
- 契約は、してもお金は後払い
- あなた自身です！
- 自分の財産守るのは

国民健康保険の被保険者へ

国民健康保険温泉契約保養所利用券が5月より、次の施設も利用できますので、ご利用ください。

- ・ 内之浦町温泉保養センター
- ・ 内之浦町岸良交流促進センター

学校だより

大原中学校

交通教室

5月9日木曜日、交通教室が行われました。始めに、「たばこ・薬物・シンナー」についてのお話をいただきました。

シンナーや薬物が体に及ぼす影響について、また、体が十分にできあがっていない未成年がたばこを吸ったとき、体にどのような害を及ぼすか、さらに、シンナーや薬物を摂取することで、自分自身のみならず、周囲の人々もまきこみ、悲しませるということな



実験を見せていただくことができました。車のスピードはさほどでないにもかかわらず、ダミー人形が鈍い音とともに車にあたった瞬間、生徒からは驚きの声があがりました。ダミー人形は衝撃で五メートルほどとばされ、地面にたたきつけられました。生徒たちは事故の衝撃を目のあたりに



ど、資料やパンフレット、本町の実態を交えながら、わかりやすく説明していただきました。あいにくの雨で、自転車に実際に乗って学ぶことはできなかったのですが、ダミー人形を使った『車と人との衝突

2市10町で合併問題について調査研究します

肝属地域市町村合併調査研究会を発足

4月10日、肝属地区に輝北町を加えた2市10町からなる、「肝属地域市町村合併調査研究会」が発足しました。研究会は各市町の市町長12名で構成され、会長には鹿屋市長、副会長には吾平町長、根占町長が選出されました。

《設置の経緯と目的》

地方分権の推進により、いろいろな仕事を市町村自らの責任で行う必要性や、私たちの日常生活圏の拡大、少子高齢化の進行、国・県を通じた財政状況の悪化などから、将来の地域振興を考えると、行財政の効率化や基盤強化が強く求められている中で、市町村合併は避けて通れない重要問題となっています。

県内においても各地域で合併研究会の設立等の取り組みが行われており、本地域では、平成13年10月に南隅地域（田代町・大根占町・根占町・佐多町）が、また今年3月には東部地域（串良町・吾平町・東串良町・高山町・内ノ浦町）が共同での調査研究会を設置し、調査・研究事業に取り組んでいます。

このような中、今後は生活圏と一致した広範囲の地域が一体的・主体的に、共同で市町村合併の調査・研究を行っていくことが必要です。このため県が示した合併パターンを参考に、肝属地区に輝北町を加えた2市10町共同で、合併の効果や必要性・地域の将来像等について調査・研究するため、調査研究会を設置いたしました。

《調査研究内容は》

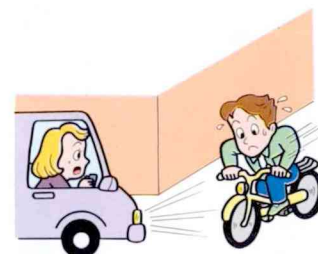
- 調査研究会では、
- 地域の現状と課題は何か
 - 合併して得られる効果と、その効果をどう活用していくのか
 - 合併した場合の課題はなにか、そしてどう対応していくのか
 - 私たちの将来をどう描いていくべきか
- などについて調査研究し、住民の皆さんが合併について論議する材料となる資料を作成・提供したいと考えています。
- 田代町でも今後、住民の合併に関するアンケート調査や住民説明会等を開催する計画ですので、よろしくお願いいたします。

し、交通安全の大切さを体得したようでした。



その後、図書室で自転車事故の恐ろしさ、自転車事故を防ぐにはどのようにすればよいかを考えるビデオを見ました。

生徒たちは「歩行者」として、また「将来のドライバー」として、真剣な表情でビデオを見ていました。



婦人会長定例会

4月17日（水）に、今年度第一回目の婦人会長定例会が行われました。この日は、鹿屋体育大学から鈴木志保子助教を招いて「食生活と健康」という演題で学術講演も行われました。



会の後には、講師を招いての調理実習が行われました。



また、5月8日には第二回目の定例会が開かれ、新年度の役員が承認されました。



“役場ロビーをみてごらん”

「歯の衛生週間」ポスターコンクールの入賞作品を展示しております。お近くにお越しの際はぜひ御覧ください。

中央公民館講座

講座名	講師名	場所	講座名	講師名	場所
レクリエーションダンス	田中 克子	中央公民館	手芸・編み物	大浦地まち子	中央公民館
絵画	兒玉 宏行	中央公民館	楽しい家庭園芸	泊 清治	中央公民館
英会話	楠元るみ子	中央公民館	太極拳	下園 清子	中央公民館
社交ダンス	窪 久子	中央公民館	町の歴史探訪	右田 勉	中央公民館
パソコン	石澤 博治	田代中学校	及び短歌・俳句	田中 克子	

平成14年度社会教育団体役員

団体名	会長	副会長	書記・会計
子ども会育成会 連絡協議会	牧原 幸一	野本 輝勇	小梅枝すず子
P T A 連絡協議会	鳥淵 千秋	森 純一郎	松木 義幸
地域婦人団体 連絡協議会	森 民子	近川 良子	串町 芳子
連合青年団	会長	副会長	事務局 書記・会計
	森 健二郎	市来 公太 南 智子	古殿 裕美 上八重由紀



低学年女子 100m 力走風景



中学校低学年男子 1,500m 力走風景



田代中陸上記録大会でにっこり！



共通男子 3,000m 力走風景



心づくしの料理を味わいました

5月1日、町内各小中学校の先生方が役場3階会議室に一堂に会し、町の教育総会が行われました。午後からの全体会で本町についての概要紹介と日程説明があり、分科会で各教科部会が行われました。総会後は田代小学校体育館にて町内の小中学校の先生方と教育委員会でスポーツ交歓会（親睦バレー）を行い、さわやかな汗をかきました。夜には、町長をはじめ、町関係者の方々と交え、新任の先生方15名の歓迎会が行われました。

教育総会 & 転入職員歓迎会

中央公民館講座 開講式
5月24日、合同開講式が行われ、平成14年度公民館講座がスタートしました。アンケート結果に基づいて、今年度は次の九講座を開講しました。

新年度の活動スタート

5月は、各社会教育団体の総会が目白押しでした。昨年度の会務報告、会計報告、新年度の活動方針と計画、予算などの審議がスムーズに進行し、新役員を中心に、平成14年度の活動が順調に滑り出しました。

田代中、大健闘！ 県大会へ

5月22日、第36回肝属地区中学校陸上競技大会が鹿屋市陸上競技場で行われ、本町から田代中、大原中が出場しました。日頃の練習の成果を十分に発揮し、鹿屋、垂水を含めての学校対抗の部で（以下省略）肝属地区の代表として活動が期待されます。

地区子ども会指導者名簿

	No.	名前	性別	年齢	所属
麓	1	池 増 哲 也	男	50	田代小学校教頭
	2	上吹越 寿 次	男	28	田代町役場
上部	3	田 淵 勝	男	46	郵便局
	4	栗 脇 勉	男	48	自 営 業
	5	川 崎 哲 史	男	27	田代小学校教諭
川原	6	水 流 正 志	男	61	団 体 職 員
	7	永 澤 輝 昭	男	29	田代小学校教諭
	8	袖 山 仁 志	男	22	田代町役場
花瀬	9	石 澤 博 治	男	42	田代中学校教頭
	10	瀧 山 悦 子	女	29	田代小学校教諭
大原	11	上 山 修	男	35	大原小学校教諭
	12	中 田 眞 弓	女	44	大原中学校教頭
	13	梅 元 金 一	男	49	理 容 師

※子ども会活動の充実を目指して※
いじめや喫煙・窃盗など、今、青少年の問題行動が大きな社会問題となっています。このような状況の中で、異年齢による体験活動の果たす役割はたいへん大きいといえます。本町では、青少年育成の日を中心に、育成者、理事指導員の援助のもと、子どもたちが主体となる活動が進められています。子どもたちは町民みんなの宝物です。子どもたちの将来と田代町の発展のため、皆さんの協力と声かけをお願いします。



▲ 上部地区
今年の行事の話し合い



▲ 麓地区
新入生の歓迎会



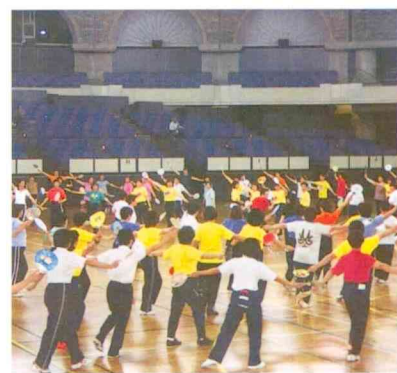
▲ 大原地区
楽しいレクリエーション



▲ 川原地区
ドッジボール大会

この試験は、やむを得ない事情等により義務教育諸学校に就学できなかった方々を対象にしているもので、合格すれば高等学校の入学資格が与えられます。実施要項、受検案内及び願書等については教育委員会までお気軽にお問い合わせください。

平成十四年度 就学義務免除者等の中学校卒業程度認定試験実施



5月16日、鹿児島アリーナにて女性体育指導員を対象にした研修会が行われ、金子のぞみさんと小川美里さんが参加しました。

平成十四年度 女性体育指導員及び社会体育担当者研修会

「司法書士裁判支援相談会」の開催

鹿児島県司法書士会は、県民の司法へのアクセス窓口として「裁判支援センター」を設置し、次の要領で司法書士による「裁判支援相談会」を開催します。事前予約は不要ですので当日相談会場へ直接お越しください。

お問合せ先は鹿児島県司法書士会

(☎ 099 - 256 - 0335) まで

相談受付内容：

境界紛争・相続紛争・離婚問題・貸金回収・借金苦・その他裁判手続きに関わる相談受付並びに裁判の支援

日 時：平成14年6月29日(土曜日)
午前10時～午後4時

相談会場：根占町民センター(役場内)

☎ 4 - 3111

鶴平入野竹市
園石院田内来
一ノ正マ嫡政
喜子昭サ夫子

様様様様様様

田代町社会福祉協議会「篤志寄付金」

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき 平成14年6月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,653	0	6	2	1	3
女	1,806	0	4	4	4	△4
計	3,459	0	10	6	5	△1
世帯数	1,445					4

休日在宅当番医

月 日	当 番 医	T E L
6月16日(日)	肝属郡医師会立病院	2 - 3111
6月23日(日)	大 根 占 医 院	2 - 2658
6月30日(日)	じょうさいクリニック	4 - 2977
7月 7日(日)	濱 畑 ク リ ニ ッ ク	5 - 2575
7月14日(日)	二川内科胃腸科	2 - 2033

せせらぎかん 瀬々来樹館 オープン

5月18日、奥花瀬自然公園内の休憩所・野外飲食施設「瀬々来樹館」がオープンしました。町内外の方のご利用をお待ちしております。

メニュー：ソーメン流し・ニジマス塩焼き・鯉の洗い・鯉こく・生ビールなど

営業時間：午前10時～午後4時まで

夜の営業については要予約その他、詳細については電話で確認してください。 ☎ 5 - 3883

ニジマス釣場もご利用ください。

2,000円(竿・餌・釣った魚1kgまで)、1kgを超えると100g当り160円 ☎ 5 - 3376

最近、「マイナスイオン」という言葉をよく耳にします。空気中には、プラスイオンとマイナスイオンが存在します。人間は、細胞の新陳代謝や呼吸を通して、自然界のイオンを摂取して生命を維持しています。現代社会は、様々な形でプラスイオンの多い環境を形成しています。そんな中で、マイナスイオンの多い空気は、人体の酸化物をアルカリ性に中和して、細胞内に酸素と栄養素を吸収しやすくします。しかも老廃物を排出しやすくして細胞を活性化します。つまり、人体の生理作用を快調にするとともに、人間が本来持っている自然治癒力を高める働きがあるのです。滝や水の側、又は溪流など水の多い場所では、マイナスイオンが豊富に含まれているので、適度な気分になった経験はありませんか。それは、このような場所の周囲が、マイナスイオンを豊富に含んだ空気だからなのです。



編集後記

⑥

一般家庭から比べると、滝で80倍・森林で40倍マイナスイオンを多く含んでいるとのこと。滝の場合、岩などに水が激しくぶつかり微細な水滴が飛び散るときに、水滴はプラスに、周囲の空気はマイナスに帯電することが知られており、その結果マイナスイオンの多い環境が作り出されています。奥花瀬に休憩及び飲食施設の瀬々来樹館(せせらぎかん)が先月18日にオープンしました。清流のせせらぎを聞き、食事をしながら、マイナスイオンで体も心もリフレッシュされては、いかがでしょうか。

農業委員会委員 選挙のお知らせ

平成14年7月19日で任期満了する農業委員会委員選挙を、次のとおり実施します。

告示日

平成14年7月2日(火)

選挙日

平成14年7月7日(日)

問い合わせ先

田代町選挙管理委員会まで